



補習校だより

平成26年度 第14号

平成26年8月9日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

土曜日 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

5歳児教育の義務化

校長 永井 晋

補習校の短い夏休みも終わり本日から通常の授業が始まりました。子どもたちはどんな夏休みを過ごしましたでしょうか。夏休みにしか出来ない貴重な体験をしましたか。ご家族と過ごす時間はたっぷりとありましたか。キャンプなどに参加して同年代あるいは異学年の子どもたちと交流しましたか。日本の学校に体験入学しましたか。どんな体験でも普段と違う体験は子どもの成長にとって必ずプラスになります。

さて、文部科学省は、5歳児の教育を義務化する方向で最終調整に入りました。今まで小学校1年生だったものを5歳児の幼稚園、保育園に通う子どもたちに引き下げ、無償化し義務教育とするようです。無償化は段階的に3歳児から5歳児まで適用を目指すそうです。それによって現在問題となっている小学校1年生の小学校になじめなかったり、授業で座っていることが出来なかったりするいわゆる小1プロブレムの解決を図るのだそうです。当初、小学校入学の年齢を引き下げることでも考えられていたようですが、幼稚園、保育園の経営を考えるとそれには踏み切れなかったようです。つまり今の幼稚園、保育園の5歳児の学年を義務教育にするのだそうです。方法や中身についてはこれからですが、どうなるのでしょうか。保育園は教育機関ではありません。お子さんを預けるところです。幼稚園は教育機関です。学習指導要領のようなこれを教えるというものは出来るのでしょうか。疑問ばかりが浮かんでしまいます。

補習校ではどうでしょう。もし実現されれば補習校も大きく変わることになるかと想像できます。現在補助が出ていない幼稚部にも政府援助が出るかもしれません。幼稚部の教育内容が文科省から厳しく制限されるかもしれません。いずれにせよ、遠い未来のことではありません。皆さんで考えていかなければならない問題です。



(夏休み前はどのクラスも寂しい人数でした)